

ウルトラトレイル・マウントフジ 2021 全体説明会議事録

日時：2020年9月24日（木） 13:30～15:30

会場：ハイランドリゾート ホテル&スパ 地下1階 バンケットルーム「芙蓉」

議題：(1) 2021 大会運営計画説明（大会概要、コース、コロナ対策など）

(2)鳥類の生息調査について 経過報告

(3)質疑応答/その他

出席者一覧

No	所属・部署	氏名
1	環境省 富士五湖管理官事務所 国立公園管理官	斎藤 天道様
2	環境省 沼津管理官事務所 国立公園管理官	平野 淳様
3	静岡県 暮らし環境部 環境局 自然保護課	山上 達也様
4		花城 啓太様
5	静岡県 東部農林事務所	池田 正樹様
6	富士吉田警察署	星野 勲様
7	富士五湖消防本部	中根 恒光様
8		渡辺 昭様
9	日本野鳥の会 南富士支部 保護部	渡邊 修治様
10	自然公園指導員	半場 良一様
11	自然公園指導員	秋元 芳武様
12	公益財団法人 日本鳥類保護連盟	藤井 幹様
13		松永 聡美様
14	株式会社時之栖 営業部	加藤 弘一朗様
15	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 代表理事 ウルトラトレイル・マウントフジ 実行委員長	鈴木 毅
16	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 理事 ウルトラトレイル・マウントフジ 副実行委員長	福田 六花
17	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 理事 ウルトラトレイル・マウントフジ 実行委員	三浦 務
18	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 理事 ウルトラトレイル・マウントフジ 実行委員	中尾 益巳
19	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 監事 ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会 財務担当	上田 正宜
20	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会事務局 局長	千葉 達雄
21	ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会 事務局 一般財団法人アールピーススポーツ財団	岡嶋 智己
22	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会事務局	神谷 知里
23	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会事務局	秋本 康晴
24	NPO法人富士トレイルランナーズ倶楽部 ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会事務局	鈴木 雅子
25	富士市	市川 洋介
26		スポーツ振興課 影山 智海
27	身延町	企画政策課 村松 雅恵
28		みのぶ観光センター 若林 由美
29	富士河口湖町	生涯学習課 中村 拓郎
30		北川 浩正
31	山中湖村	観光産業課 宮田 大樹
32	御殿場市	2020オリンピックパラリンピック課 芹澤 龍宏
33		2020オリンピックパラリンピック課 梶 悠雅
34		富士山ツーリズム御殿場実行委員会 関谷 正太郎
【リモート出席】		
35	山梨県 森林環境部 みどり自然課	前島 みどり様
36	富士山エコレンジャー連絡会	吉永 耕一様
37	公益財団法人日本野鳥保護連盟	葉山 嘉一様
38		吉田 裕樹様
出席者 理事：4名 事務局：5名 監事：1名 6市町村：10名 各団体：18名 合計：38名		

<実行委員長あいさつ 楠木>

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

第9回ウルトラトレイル・マウントフジのご説明をさせていただきます。今年4月の大会はコロナの影響で中止となりました。その後コロナ一色となり、スポーツ業界の人間も四苦八苦しながら生きております。ただ、この半年間で色々な知見が生まれてまいりました。このウイルスは恐れなければならないですが、対策を講じることでリスクを減らせるとわかってきた部分もあります。8月からトレイルランニング大会でも800人規模の大会ができたり、規模を縮小しながら始まっている大会もあります。ウルトラトレイル・マウントフジまでは残り7ヶ月程で、長くもあり短くもあるので、対策を十分にし、国際的な大会としては断念することとなりますが、良い形で開催できればと思います。本日はよろしく願いいたします。

(1) 2021大会運営計画説明(大会概要、コース、コロナ対策など)

<事務局長 千葉>

【大会概要】

(配布資料「運営計画書」に沿って進行)

主な内容は以下の通り。

○開催日：2021年4月23日(金)～25日(日)

○種目：UTMF(ウルトラトレイル・マウントフジ)1種目

○参加資格：招待選手等を除き、エントリーは国内在住者のみ対象とする。

○エントリー期間：優先エントリー10月25～31日、一般11月16～23日、寄付11月16～23日。

○参加費：優先/一般36,000円 寄付100,000円(環境事業に使う目的)

○スタート会場：静岡県 富士市 富士山こどもの国

○フィニッシュ会場：山梨県 富士河口湖町・富士吉田市 富士急ハイランド

参加者間のフィジカルディスタンスを確保するために広いスペースを確保

○スタート方式：500名ずつのウェーブスタート(5ウェーブ予定)

○イベント：「UTMF マルシェ(飲食ブース)」全て中止。

「UTMF 富士山ぐるりラリー2020-2021」地域振興として各施設を利用しシールを集めて景品と交換するイベント。継続中。

○受付：4月22日(木)に事前予約制で実施予定。

昨年2か所→3か所(富士急ハイランド コニファーフォレスト、御殿場高原時之栖、

JR 新富士駅)へ変更。昨年まで実施していた当日受付を実施しない為、昨年より前日の受付者数は1,000名増となり、宿泊者数も増加する見込み。

【コロナ対策について】

(配布資料「UTMF2021 新型コロナウイルス感染防止のための運営方針」に沿って進行)

主な内容は以下の通り。

※参加者は競技規則に加え「UTMF2021 新型コロナウイルス感染防止のための運営方針」を遵守、承諾することが参加条件となる。

○2週間前から検温を実施し記録を提出すること。

○大会当日 37.5°C以上の方は参加禁止。

○マスク着用について、スタートから 500m/ウォーターステーション/エイドステーション/フィニッシュ会場は着用すること。

○エイド・ウォーターステーションでは、飲食提供があるため、ゴミ捨て場所を限定して管理。指定場所以外で捨てることを禁止。

○エイドステーションでの私的サポート、応援の禁止。(9月24日配布資料の内容と異なるため修正)。

○緊急事態宣言時は大会中止。自治体独自で外出自粛などの要請があれば中止の可能性あり。延期はしない。

○免責事項として、コロナ感染の場合に大会は責任を負わない。

【競技規則】

(配布資料「運営計画書」に沿って進行)

主な内容は以下の通り

○エイドステーションと私的サポートについて：すべて禁止へ変更。(9月24日配布資料の内容と異なるため修正)。

○救助及び医療援助について：

・救助の際に3時間以内に現場へ到着できるように救護スタッフを配置。場所によっては6時間以上の場合あり。

・リタイアの場合、基本は自力で所定の場所まで移動していただく前提。命にかかわる場合はダイレクトに119番する可能性あり。

・道に迷った場合、参加者が地図を見て、地点番号により救助を行う。

○コース上の誘導と案内について：誘導テープ(100m間隔)、看板、誘導スタッフを配置しリスク管理。

○安全管理体制：組織図は18ページの通り。

・開催会議について：1週間前と3日前に行う。定期的になるべく大会直前まで。

○コースについて：スタッフがすべてのコースを確認し安全を確認したうえで開催。

○迂回ルートについて：土壌にぬかるみ等が発生した場合には、6か所を迂回ルートに変更する(19ページ①～⑥の通り)。

○エイドステーション・救護体制について：各ウォーターステーションおよびエイドステーションには、医師または看護師、救護スタッフを常駐。

○自然環境に配慮した持続可能な大会運営のために：環境影響モニタリングを10か所で実施予定(22ページ エリア番号1～10)。利用影響モニタリングを3か所で実施予定(石割山神社駐車場、明神山パノラマ台、天上山山頂)。

【コースについて】

(配布資料「コースマップ」に沿って進行)

昨年からの主な変更点は以下の通り

○竜ヶ岳：A3本栖湖近くの竜ヶ岳は、雨に弱いため2020年から端足峠から下りるルートへ変更。

○90~91km地点：足和田山の降り口は昨年より広くスムーズに下りられる林道へ変更。

○A5忍野：(忍野ふれあいホールから)忍野村民交流公園へ変更予定。新型コロナウイルスの状況におよ

っては変更の可能性あり。

○A8 富士吉田：(富士小学校校庭から) 明見湖公園へ変更予定。

○148km～：ロードからトレイルコースへ変更。

○160km～：天上山山頂から下りるルートへ変更。廃道を整備したルートを通過後、約 2.5km ロードを走り、フィニッシュ富士急ハイランド コニファーフォレストへ。

(2)鳥類の生息調査について 経過報告 (3) 質疑応答

<公益財団法人 日本鳥類保護連盟 藤井様>

コース周辺で鳥類調査を実施し、希少な鳥類の繁殖等を確認したが、現段階でトレイルランによる影響は少ないと考えられる。ただし、今後も動向をモニタリングしながら、問題が出てくればトレイルランの影響を回避するよう提案していく。

※鳥類の生息調査について、詳細および質疑応答内容については、環境保護の観点上、非公開とさせていただきます。

<日本野鳥の会 南富士支部 渡邊様>

多年度で調査していただかないと極めて危険。その他の一般鳥類へも影響が出ていることは確かなので、そちらの調査もしていただきたいということ。大会企画当初の頃、大会数日前と数日後で我々が調査したところテリトリーを構えていた一般鳥のサエズリが明らかに減っていた。その当時は5月だったと思う。5月になると夏鳥も渡ってくる。4月末は来るか来ないかの時期。また一年中そこに生息している鳥もいる。それに対する影響もなくなったわけではなく、4月から繁殖に入る鳥もいる。サシバという鳥で例えるとまさに渡ってきて繁殖の時期にちょうど大会が開催の影響があることは間違いないと思う。そういったこともあるので一般鳥類の調査もお願いしたい。

<公益財団法人 日本鳥類保護連盟 藤井様>

渡邊さんがおっしゃることはまさにその通りで、生態系の状況を見ると、小鳥の方を調査することも必要なのかなと思う。とくにコースで走る部分にいる鳥がどうなのか。予算の問題もあるがそれを調べることも必要。

<自然公園指導員 半場様>

予算がかかるからこのレベルということですか。

前回の集まりで予算がないので、希少種の調査までできないという話だったと記憶しています。

十分な調査が行われているとは思えない。

<副実行委員長 福田>

予算は厳しいが、できる範囲で継続してやっていこうとなり、今回の調査を行った。一回限りではなく、継続してやっていく予定。尚且つこのような会でいただいたご意見を参考にして、我々も知らないことが多いので、色々教えていただいて、希少な自然環境を守っていくことはすごく大事なことなので、それに向けてやっていこうとなっている。

【質疑応答の結果】 <事務局長 千葉>

- ・希少な鳥類の調査について：継続して調査を行う。
- ・一般鳥類の調査について：ご相談しながらできる範囲で進めていく。

○質疑応答/その他

<富士山エコレンジャー 連絡会 吉永様>

土壌のモニタリング活動を継続してやられていて、データを公表されており、敬意をもってみているが、昨年7月と9月に会議で質問したことがペンディングとなっていると思う。UTMFが2012～2019年までに行っている調査によると裸地化に近づいたことは一度もないとなっている。富士山エコレンジャーでは、須山口で2012～2016年、その後コースとして使われなくなった後も歩道状況を調査しているが一番問題となってくるのは、歩道がぬかるんで、やわらかくなり、(選手が)その場所を避けることでより周りの植生を創傷していくこと。たくさんの人が通っている場所ではなく、やわらかい歩道を使うと支持力が低下する。迂回ルートを想定しているような場所の支持力の事前事後測定をお勧めしたい。長者ヶ岳、熊森山、端足峠は事前調査して、土壌硬度計で15を下回るような柔らかいところは2500人が走るには適していない。また、エコレンジャーとして環境パトロールを15年続けて分かったことの一つに、環境調査のサンプリングで距離1%に満たないところを調べても荒廃はわからない。使われた全部を見ていただかないと修復すらできない。そういう意味で我々は須山口の全コースをビデオで事前事後に1、3、6か月後と撮影した。これにより影響が分かり、場所ごとでの対策も分かってきた。前回はビデオなどを使っての確認をお願いしたが、全部とは言っていないくて、とくに長者ヶ岳、熊森山、端足峠のあたりを事前事後ぜひ見てもらいたい。

<事務局長 千葉>

長者ヶ岳については、ぬかるみやすいことを把握しており、う回路を設定しているが、設定にあたり数値などまた細かいことを教えていただければと思う。

<自然公園指導員 秋元様>

・事前送付資料(運営計画書、コースマップ)が届いていなかったが作為的ではないか。

→配送状況を確認する(事務局 鈴木)。9/16(水)発送済

・オリンピックが中止または延期になった場合には(UTMF)影響ないのか。

国でオリンピックが中止になれば影響が色々あると思うが、その場合でも参加費は返さないのか。

→オリンピックとUTMFは別物と考えているため、オリンピックが中止になったからと言ってUTMFも中止とは考えていない。ただし、コロナの感染状況によって中止はあり得る。招待選手以外は国内在住者ということで基本的には国内のコロナ感染状況により決断していく。(事務局長 千葉)

・100kmマラソン等では開催時間が限られているので誘導員がこちらに曲がりなさいなど指示しているが、(UTMFで)とくに後半バラバラになり市道を走る場合に選手の判断で右を走ろうが左を走ろうが構わないのか。

→基本的には誘導員を配置している。3日間で1500名体制。もしご迷惑をかけている場所があれば、教えていただければ強化していきたい。(事務局長 千葉)

・信号は車が来なければ渡っていいのか。

→信号無視は道交法違反。交通規制はかけていないので信号は守らないといけない。もしそういった人を見つけた場合には大会側で厳しい処罰を科す。(事務局長 千葉)

・山中湖きららで大規模コンサートがあったが、参加者の具合が悪いということで、私の知人が救急車を呼んだが到着まで2時間と言われた。自治体、国の方へもお願いしたいが主催者側で救急車を用意するよう指導をお願いできないか。

→

<富士五湖消防本部 渡辺様>

大きなイベントでは救急車の要請があるので、極力我々も待機しているが、この大会は46時間と長いのですべてを待機するというのは難しい。とくに山の中で発生場所に行くのに時間がかかる。要請があれば対応できる準備は整えている。山梨県側の消防は(本日の説明会に)入っているが静岡県側の富士市や富士宮の消防は入っていないのか。

→入っているが出席していないだけで資料などは送っている。(事務局長 千葉)

<日本野鳥の会 南富士支部 渡邊様>

運営計画書の最後に「自然環境に配慮した持続可能な大会運営のために」とあるが、内容は走路の荒廃についてのみ。我々は野鳥の会なので鳥を中心に進めますが、両生類、爬虫類、哺乳類、昆虫もいる。それらについて一切触れられていないが影響があるか調査しないのか。野鳥と走路だけではまずいと思う。

→

<事務局長 千葉>

私は元々環境省のモニタリング選定の委員で、モニタリング指針を大学教授や研究者と集まって作った。その環境省のモニタリング指針に基づいているが、他はやらなくていいということではなく、1番はコースを外さずに歩く、走らせることが前提。コースを外れる前提だと植物など貴重なものを荒らすことになる。とはいえ、歩道は人間が自然破壊して作っている道になるがそこを壊してもいけないということで、そこは持続可能なかたちでやっていくために作った経緯がある。あとは現実的に道を外さなければ影響は低いだろうという考えで決めた。

→

<日本野鳥の会 南富士支部 渡邊様>

現実的にはコースを外れなくても影響がないということはないと思う。一定の幅での影響は避けられないと思うので、両生類含む昆虫など、鳥類のようにコースを外れなくても影響あるものは調査するべき。

<事務局長 千葉>

試行錯誤しながらやっていくとしか今はお答えできないが、引き続きご指導のほどよろしく申し上げます。

<環境省 沼津管理官事務所 平野様>

今年からの参加で経緯を知らないため確認だが、コースを外れないとか、一般利用者へ配慮というのは参加者への周知はどのようにされているのか。紙で渡すだけでなく、受付やスタート前に口頭で呼びかける

などお願いしたい。現状はどのようなかたちか。

→参加者に競技規則は読んでいただいで参加していただいでいる。また、啓発活動を行ったり、環境省に協力しガイドラインを作ったりしている。(事務局長 千葉)

<事務局長 千葉>

事前に大会をやる看板をつけてほしいと言われることがあるが、国立公園につけると観覧の問題であまり宜しくないという話もある。そのあたりをうまくルール化でき、トレイル入り口等につけられるとやりやすいが、広告物の問題もあり中々つけられないのが課題。また、事前に大会の告知していても利用影響モニタリングによると実際富士山へ来られる方はほとんど県外の方が多いので、その方たち向けにどうするかは課題。幸い同じ時期に大会開催できていることで、年々認知は増えているので地道にやっっていく。

<環境省 富士五湖管理官事務所 齋藤様>

広告物の件については普通地域と特別地域の届け出許可が必要という話はあるが、否定しているわけではなく許可さえとっていただければ問題ない。自然環境部でご相談いただける話。周知いただける方が国立公園の観点からも良いと思う。

国立公園の歩道利用については現状紹介しているところはないので、関係自治体の観光課の方で歩道ので広報頂いたほうが良いと思う。山梨県の観光資源課でも県の歩道は管理しているのでご相談いただいても良いと思う。

<静岡県 自然保護課 山上様>

・自然保護について、10 ページでコースショートカットについて記載があるが、大会サイトには載せているか。

→競技規則は載せている。(事務局長 千葉)

・出発前のアナウンスをできればお願いしたい。(大会サイト) 外国語にも外来種の持ち込みの関係など書いていただきたい。

<自然公園指導員 半場様>

・野鳥保護の問題で日付を変えたり中止にすることは可能か。

→大会中止の選択肢は常に持ちながらやっている。(事務局長 千葉)

・希少な鳥に影響があればコースは変えるのか。

→過去かなりコースを変えている。(事務局長 千葉)

・私の家の前がコースで、いつも山を楽しむ人達が親しくする鳥たちがいる。希少な鳥ではないたくさんいる鳥。いつになったら見に来るのか。お金もかからないのに来る様子もない。それに影響があると私は認識している。

→

具体的にどのような種類の鳥が 8 年間の間にどのように影響があったか申し訳ないが把握できていないが、数がすごく減ったなど具体的なものがあるのか。(事務局長 千葉)

→

データはない。その時期は繁殖期になっているので、その時期に走るのはやめてほしいと言っている。ずっと言っているがその答えがでたことがない。

<事務局長 千葉>

いろいろな方のご意見をいただいて総合的に決めている。

半場さんのお気持ちにこたえていないのは事実だと思うが、最大限できる場所を探して決めている。

野鳥調査も始めているので、その結果もふまえていつだったら持続可能か引き続き考えていきたい。

<自然公園指導員 半場様>

全然返事になっていないと思う。見に来て繁殖期だったらやめるということにはならないのか。

→本日の会場の方を含めいろいろな方のご意見をいただいて一番影響の少ない時期でやっていく。(事務局長 千葉)

<自然公園指導員 半場様>

繁殖期であれば変えられる？今年に限らずずっと言っている。

→

ずらせばベストだが、できない事情もあるので、影響を一番軽減できることを考えて、今年はこの日程で開催を考えている。毎年コースや日程は検討しているが、大会存続できるかどうかが一番心配で、当たり前のようにこの大会があればいいがそうではない。それはご理解いただきたい。(事務局長 千葉)

<自然公園指導員 半場様>

私は理解してもそこで死んでいく鳥が理解するか分からない。

<静岡県 東部農林事務所 池田様>

静岡県側の国立公園の許可申請で、申請書を市役所に出してから 30 日がかかる。年末から年度末に殺到する。人事異動もある。申請は極力早めをお願いしたい。仮設看板の前倒しについては基準を満たしていれば可能だが、申請はひとまとめにして出していただけるとありがたい。

<副実行委員長あいさつ 福田>

お忙しいところ長時間ありがとうございました。2021 年の UTMF 開催に向けて粛々と進めています。素晴らしい大会と言っただけのよう頑張っていきます。また色々なご意見をお聞かせいただき、我々もできる限りやっていきたいと思えます。引き続きよろしく願いいたします。

以上

議事録作成

ウルトラトレイル・マウントフジ実行委員会
事務局 秋本康晴